市民も元気！地域も元気！宇城市も元気！

ハートフルうき

2021 No.192
1月号

謹賀新年

本年もよろしくお願いいたします

社会福祉法人 宇城市社会福祉協議会

社会福祉法人
宇城市社会福祉協議会
会長　守田　憲史

新年のご挨拶

皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の諸事業に対しまして深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症拡大の勢いは、止まるどころか増すばかりでございます。

本年も県内や宇城地域の感染状況を考慮しつつ、引き続き徹底した感染防止対策の下で安全・安心な事業の開催に努め、皆様とともにこの窮地を乗り越えていきたいと思います。

また、昨年七月に発生しました豪雨災害に対するボランティアとしてご尽力くださった皆様方にあっては、被災者支援という暖かいご奉仕をいただき、心よりお礼申し上げます。

本会では、「人と人がつながり共に支え合う地域づくり」を基本理念とし、地区福祉会活動のさらなる発展と、健康増進・絆づくりの推進を図るとともに、職員が地域に出向いて地域の生活実態や社会資源を把握し、地域の課題を解決・解消すべく、地域の方々と一緒になって取り組んでおります。

熊本地震発災から四年八カ月が経過し、地域支え合いセンターの主な活動場所も応急仮設住宅から復興住宅へと移行しております。

被災された方々が新たなコミュニティの中で、安心した生活を送られるよう、行政や関係機関と連携し、引き続きサポートして参ります。

総合相談センターでは、コロナ禍による影響により支援を必要とする方が増加傾向にあります。これまで以上に相談窓口の周知を図り、相談者に寄り添い、尊厳を守りながら関係機関等とのネットワークを強みに、より良い解決策を講じてまいります。

今年も職員一同、市民の皆様が住み慣れた場所で、自分らしく暮らし続けることができますよう、支援体制や仕組みづくりに努め、市民の皆様をはじめ、行政並びに関係機関・団体と連携し、さらなる努力をして参ります。

結びに、皆様方の引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、この一年が幸多き年となりますように心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

役員等紹介

会長	守田　憲史
副会長	高橋　清勝
常務理事	野田　眞
理事	野田　秋信
理事	石川　洋一
理事	濵崎　壽子
理事	松田　立秋
理事	吉田　良一
理事	由布眞知子
理事	坂本　順三
理事	那須　聡英
監事	河野　一郎
監事	松本　仁子
評議員	西山　和人
評議員	嶋谷　洋一
評議員	池辺　敏雄
評議員	岩山　勝也
評議員	濵田美津子
評議員	坂井ミチコ
評議員	大嶋　誠也
評議員	村崎　絹子
評議員	浦上きみ子
評議員	平岡　京子
評議員	横尾七生子
評議員	浦川　節生
評議員	河野　安知
評議員	松永　茂
評議員	長田　政敏
評議員	柿本　勝成
評議員	岩本　敏之
評議員	平岡　和徳
評議員	渡辺　七郎
評議員	沼田　宗生
評議員	小篠　武明

～宇城市社会福祉協議会の事業を紹介します～

子育て中の方・子どもへの事業‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P3
児童・生徒への事業、地域のみなさんへの事業‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P4
高齢者の方への事業‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P5
福祉に関する相談窓口、支え合いセンター‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P6
地域包括支援センター‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P7

事業紹介

～みんなで子育てを応援します～

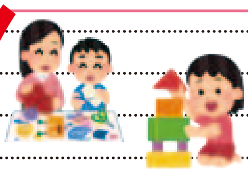
子育てひろば、ファミリーサポートセンター
児童発達支援事業所「あゆみの森」

こんな **困りごと・不安** は ありませんか？

12歳 / 6歳 / 3歳 / 0歳

子育てひろば

- 同世代の子どもと遊ぶ場が欲しい
- 子育ての悩みを聞いてもらいたい
- 子育ての情報がほしい　　など



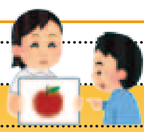
対象年齢　0～3歳くらい

- 製作あそび
- 音楽あそび
- 絵本の日
- ミニミニ講座
- 育児相談

児童発達支援事業所 あゆみの森

- 子どもの言葉や運動の発達が気になる
- 園での集団活動に参加することを嫌がる

など



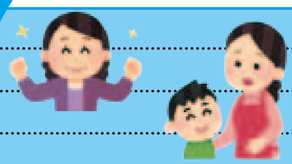
対象年齢　未就学児

- 個別療育
- グループ療育

ファミリーサポートセンター事業

- 仕事が忙しく残業しなくてはならない
- 自分（保護者）が病気になってしまった
- 学校（幼稚園）の行事に弟・妹を連れて行けない

など



対象年齢　3カ月～12歳(小6)

- 保育所等の送迎
- 一時預かり
- 病児預かり（2歳～）

利用者の声

- 家が狭いので、広い所でハイハイさせられ、また、他の子どもと遊べるので嬉しかった（子育てひろば）
- 離乳食で悩んでいたので、先生やお母さんたちに相談できてよかった（子育てひろば）
- 県外出身で不安でしたが、お母さんたちとすぐ友達になれ、お店や公園などの情報が聞けてよかった（子育てひろば）
- 事前に援助会員との顔合わせや打ち合わせをしていたので、安心してお願いができた（ファミリーサポートセンター）
- いざという時に預ける場所があるという安心が本当にありがたかった（ファミリーサポートセンター）
- 友達と仲良くできるようになり本当によかった（あゆみの森）

問い合わせ　子育てひろば・ファミリーサポートセンター　TEL 27-5353
児童発達支援事業所 あゆみの森　TEL 33-5406

事業紹介 ～未来を担う子どもたちへ～

ワークキャンプ事業

市内の小学5年生から高校3年生までを対象に、毎年夏休み期間を利用して、市内福祉施設で福祉体験学習事業を実施しています。

※写真は
令和元年度のものです

施設職員協力のもと福祉用具の使い方や介助の方法を学び、利用者と交流するなど普段できない貴重な体験をしています。（今年度はコロナウイルス感染拡大のため中止となりました）

福祉出前講座

～福祉の心を育てよう～

市内の学校児童・生徒や地域福祉会等を対象に、地域のゲストティーチャー・施設職員等を講師として派遣し、福祉体験の機会を設けることによって、「人と人とのつながりや関わり・思いやり」を学ぶ機会を提供し、福祉への理解と関心を高めることを目的としています。

実施内容

・点字体験　・車いす体験
・高齢者疑似体験

・アイマスク体験
（ブラインドウォーク）
・手話体験

この事業は共同募金配分金を財源としています

事業紹介 ～住みよい地域づくりのために～

地区福祉会活動

地区福祉会は、行政区ごと、または複数の行政区で構成されています。誰もが地域で安心して暮らすためには、お互いに支え合える地域であることが必要です。そのためには、みんなで話し合いながら地域づくりをする「地域の福祉力」が大切であり、地区福祉会はそれを高めることを目的としています。

●地区福祉会設置状況

146地区福祉会
（152行政区）
※全行政区の86.3%

●活動内容

・交流活動（ふれあいサロン、子ども会、世代間交流など）
・見守り・助け合い活動（高齢者見守り、通学路見守りなど）
・地域防災活動（避難場所確認、災害弱者の把握など）
・福祉問題発見活動（福祉座談会、福祉マップ作りなど）
・福祉学習・啓発活動（美化活動、ボランティア講座など）

ボランティアセンター

ボランティアセンターとは…？

地域住民の福祉やボランティアに関する情報提供や参加の促進といったさまざまな支援を行うところです。

ボランティアに関する相談、登録、紹介、連絡調整、情報収集・提供、ボランティア保険の受付、災害時のボランティア活動支援などを行っています。

宇城市ボランティア連絡協議会
12団体170人で構成された協議会です。
各グループ活動内容は違いますが、市内で色々なボランティア活動を行っています。
※各グループの活動報告は、ボランティアセンター通信で随時行っています。

問い合わせ　地域福祉課　TEL 32-1055

事業紹介 ～いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために～

介護予防事業

かたろう会

高齢者が筋力低下･認知症予防等のプログラムに取り組み、生きがい･役割を持ちながら住み慣れた地域で自立した生活が継続できること、また、交流を図ることで閉じこもりを防止し、精神的な問題解決に努めることを目的とする事業です。（対象者については制限がありますので、お問い合わせください）

●内容
･身体機能向上プログラム
（筋力アップ･ストレッチ、ボール等を使った運動）
･口腔機能向上プログラム
（口と舌の体操、唾液腺マッサージ等）
･認知症予防プログラム
（高齢者の認知症予防のための脳トレーニング等）

地域の通いの場

いきいき百歳体操

元気な身体を維持しよう！

週に1回地区の公民館などに集い、いきいき百歳体操などを行いながら、住民主体の通いの場を充実させ、住み慣れた地域で自立して生活できるよう支援していくことを目的としています。

現在、通いの場（いきいき百歳体操）は、市内67カ所で開催されており「階段の上り下りが楽にできるようになった」「散歩の距離が伸びた」など心身機能の維持向上に効果が出ています。

※体力測定を半年に1回行っており、ご自分の運動機能の状態を知ることができます。

楽しみ・趣味づくり

男性のボディーメイク講座

一般高齢者（65歳以上）の男性を対象に、4カ月の筋力トレーニングや脳トレーニングを行っています。体力増進や維持に努めることで、地域の担い手の育成や、福祉会等への参加を促進し、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活ができることを目的としています。また、参加者同士の交流を図ることで、閉じこもり防止にもつながります。

生活支援

安心生活サポート事業

～地域の力でつくる支えあい～

有償ボランティアによる支援が必要と認められた利用対象者に対し、日常ごみ出しや買い物等日常の困りごとへの支援を行うことで、要介護･要支援状態となることを予防し、できるだけ在宅において自立した日常生活を過ごせるよう支援を行う事業です。

●利用対象者
介護保険認定要支援1.2
総合事業対象者

●協力対象者
支えあい活動に理解があり、養成講習会を修了した方。

健康マージャン教室

65歳以上の方を対象に、健康維持、老化防止、認知症予防、生きがいづくりの取り組みとして、開催しています。

健康マージャンが初めてという方を対象に、専門のインストラクターがテキストを使用しながらゲームのルールからマナーまで、全24回の講座を実施しています。

初心者から中級コースに進む教室で、その後は趣味活動へ移行できるので、地域での活動も可能となります。

この事業は共同募金配分金を財源としています

問い合わせ　地域福祉課　TEL 32-1055